

門真市の教育に大切なもの

～キャリア教育を基盤とした小中一貫教育の推進を目指して～



令和元年6月3日（月）
第2回 第4次門真市学校適正配置審議会

門真の子どもたちの課題

- 厳しい学力
- 不登校
- 自尊心の低さ



子どもたちに、どのような力を身につけさせ、
どのように育ててほしいのか・・・

育てたい子どもの姿

- 自ら進んで主体的に物事に取り組むことができる子ども
- 最後まであきらめず挑戦することができる子ども
- 自分の将来を切り拓く力を身につけることができる子ども

では、このような力をつけた子どもたちを
育むためには、どうすればよいのか。



学んでいることを自分の将来と結び付けて考える。
自分の興味や自分らしさに気づき、それを伸ばす。
自分で考え、選択し、判断する。

キャリア教育

キャリア教育とは・・・？



キャリア教育

「一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な
基盤となる能力や態度を育てることを通して、
キャリア発達を促す教育」

▶ 中央教育審議会答申（H23.1.31）

平成11年の中教審答申では・・・

「学校教育と職業生活の円滑な接続を図るため、望ましい職業観・勤労観及び
職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、
主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」

新学習指導要領においても・・・

「児童（生徒）が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として、各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」

と示されている。

キャリア教育で育む主要な能力

- ①人間関係形成・社会形成能力
- ②自己理解・自己管理能力
- ③課題対応能力
- ④キャリアプランニング能力

子どもたちの課題

- 厳しい学力
- 不登校
- 自尊感情の低さ

育てたい子どもの姿

- 自ら進んで主体的に物事に取り組むことができる子ども
- 最後まであきらめず挑戦することができる子ども
- 自分の将来を切り拓く力を身につけることができる子ども



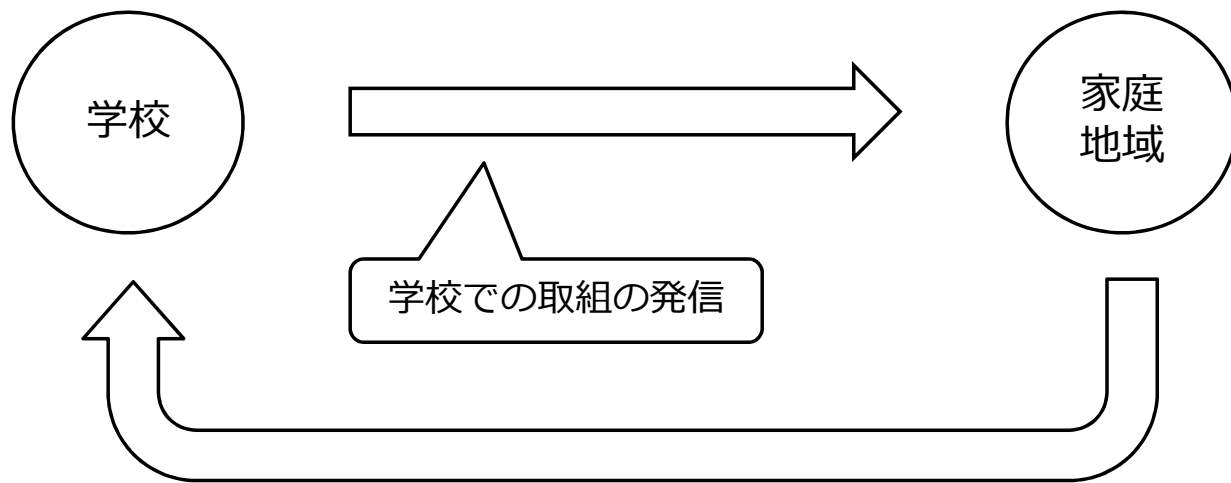
自分の将来と結び付けて考えたり、自分の興味や自分らしさに気づいて、それを伸ばしたり、自分で考えたりできるような教育活動である、キャリア教育が門真の子どもたちには有効である。

日々の教科学習はもちろんのこと、
学習面以外でも・・・
遠足、社会見学、部活動、運動会、文化祭等の
学校生活におけるすべての取り組みの中で、
キャリア発達を促すことが可能

キャリア教育は特別な取組ではない！

さらに・・・
保護者や地域の人々と連携
することも重要

学校における活動
のすべてを、将来
を考えるきっかけ
にする！



家庭でもキャリアにかかわる話
ができる
子どもの成長の
共有

身近な社会人
モデルとしての
地域の大人の
姿

職場体験学習の受け入れ
職業講話、ゲストティーチャー
大学生等による学習支援ボランティア

学校を中心とした
地域全体で
子どもを育む

教育課程を介して地域社会とつながる学校

これまでのキャリア教育取り組み例

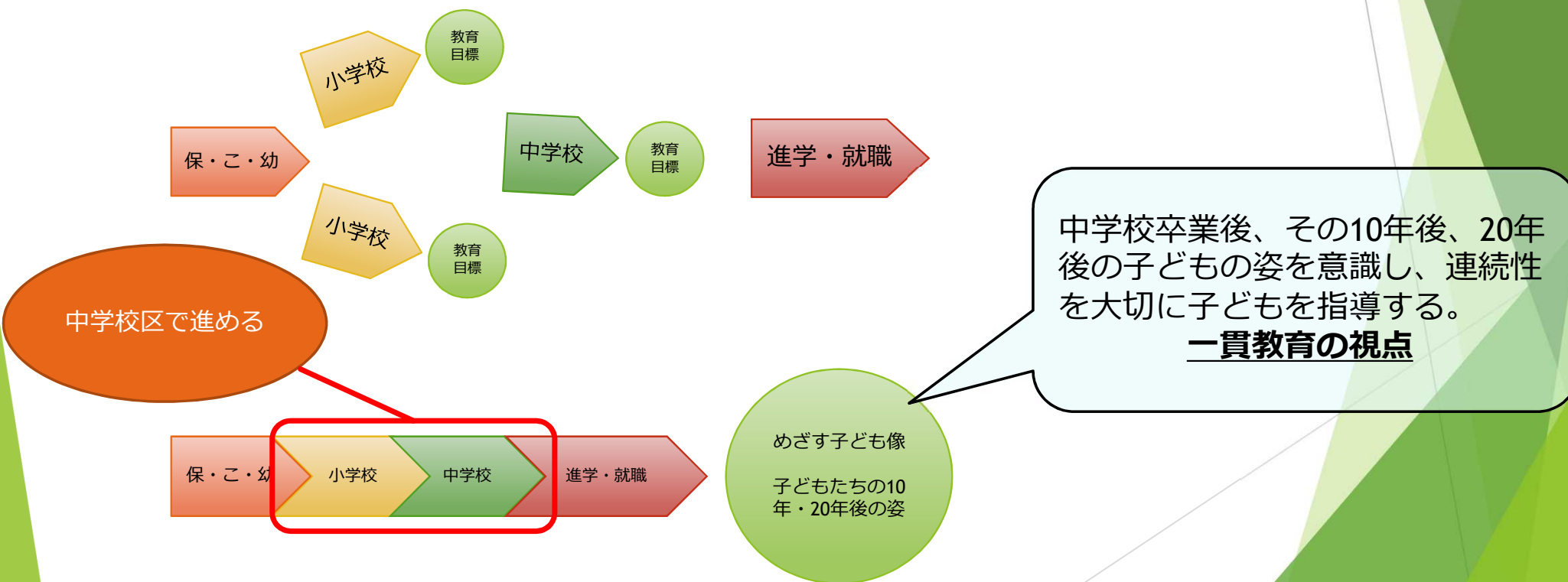
- ・ 職業講話（ゲストティーチャー）
- ・ 職業体験
- ・ 平和学習
- ・ 大学見学
- ・ 英語プレゼンテーションコンテスト
- ・ 進学フェア
- ・ 小中合同あいさつ運動
- ・ 出張授業
- ・ SNS啓発運動
- ・ 企業による出前授業
- ・ 社会科見学
- ・ ICT機器を使用した調べ学習
- ・ 授業スタンダード
- ・ 開発的生徒指導

・・・ e t c

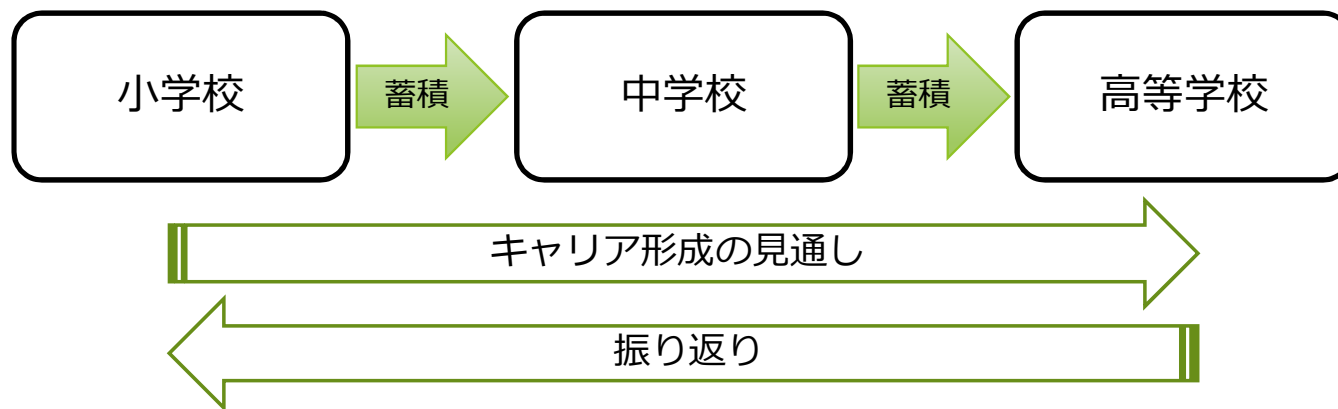
子どもたちの自己実現に向けてキャリア教育を基盤とした教育活動を実施していく。そして、その効果をさらに高めるためには小中間の連携、小中一貫教育が重要となる。

キャリア教育と小中一貫教育

キャリア教育で育成すべき能力は各学年、各学校で完結するものではなく、生涯にわたって発達するものである。そのため、キャリア教育を実践するうえでは、前後の学校間での連携が重要である。



新学習指導要領においても・・・
小・中・高等学校において、キャリア教育の活動を記録し、蓄積する教材等を活用すること、とされている。



- ・キャリア教育は、1回きりで終わるものではなく、学期、学年、学校を越えて、積み重ねていくことが大切。
- ・小学校入学から高等学校卒業までの記録を残すことで、学びの振り返りや見通しに生かすことができる。

門真市の小中一貫教育のこれまでの取組



- 平成19年 小中一貫教育プラン
- 平成21年 小中一貫教育課程等研究委員会
- 平成21年 中学校区小中一貫教育推進協議会
- 平成28年 「めざす子ども像」検討委員会にて、
中学校区キャリア教育全体指導計画作成

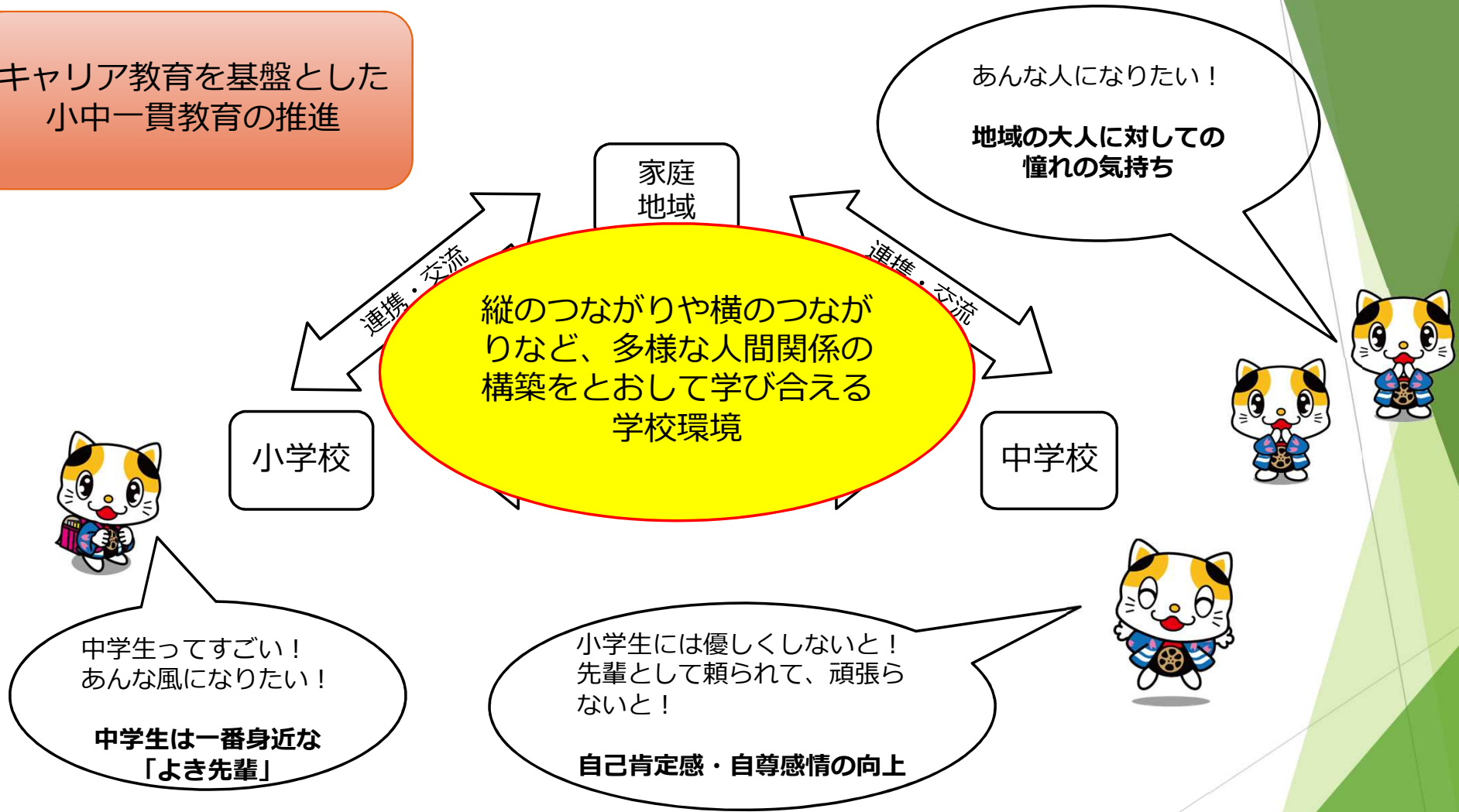
成果

- ・各中学校区で、合同研究会、研修会の実施
 - ⇒小中教職員間での相互理解が深まった
 - ⇒小中教職員間で協力しての指導にあたる意識の向上
 - ⇒学習規律・生活規律の共有
- ・クラブ見学会、授業体験等の実施
 - ⇒小学校から中学校への進学時の不安の解消

課題

- ・ 年間行事予定の調整・共通化
- ・ 物理的な距離
- ・ 小中教職員間の打合せ時間の確保
- ・ 9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材開発
- ・ 小学校での中学校の進路指導等への理解

キャリア教育を基盤とした
小中一貫教育の推進



将来への夢

いろんな仕事ある
んやな
将来の夢の選択肢
増えた

こんな風になり
たい！
そのために勉強
は必要！

あきらめずに
最後まで頑張
ろう

学習意欲の向上
登校意欲の向上

自尊感情の向上

継続力

自分の良さが見つ
かった
自分は頼りにされ
ている、必要とさ
れている

将来のことを
考えたら、学
校に行く必要
あるな

主体性

チャレンジ精神

門真の子どもたちの課題を解決し、子どもたちの夢と幸せを育てていくためには、キャリア教育をさらに充実させる必要がある。

そのためには、中学校卒業後、また、その10年後、20年後に子どもたちがどのように育ってほしいかというビジョンや、義務教育9年間の連続性、継続性を意識した一貫教育の視点をもち、小中学校の教職員が子どもたちを指導していくことが求められる。

門真市はこれまで、各中学校区で一貫教育に取り組んできた。その強みをいかし、子どもたちの夢と幸せを育むため、**キャリア教育を基盤とした小中一貫教育**を推進していく。

